

〈ケア〉を考える会-岡山(第47回)

■日時：2019年9月1日(日) 16:00～

■会場：倉敷市真備町箭田 5188 (林道也 宅)

駐車場：「メインセンター遠田」 ⇒ 林宅から北東へ約 100m、
遠田池の堤防下(遠田池の北側)、小さな灯籠・祠とムクノキの大木が目印

■内容

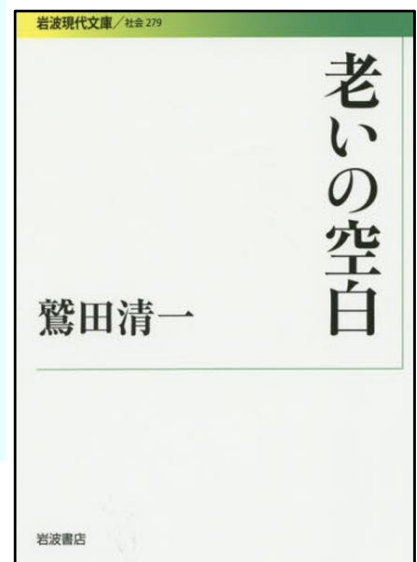
(1) 読書対話 16:00～ 本を読んで対話します

鷺田清一著『老いの空白』(岩波現代文庫) 第7章

この章のサブタイトルは——「いるだけでいい」「いつ死んでもいい」と言
い切れるとき——です。この本のまとめのような章といえます。
6章までを読んでいなくても、大丈夫です。単独でも読めます。

▼介護を受けているひとが介護を受けていると感じないよう、介護するじぶん
をどう消すことができるかという課題が介護にはあるのではないかと。▼介護
不能な老人、介護を拒否する老人をも含め、「呆けも寝たきりもそのままの姿
において肯定できるか」という問いが、老いのケアには突きつけられているの
ではないか。▼だれかに「ただいるだけでいい」とほんとうに言える根拠が果
たしてどこにあるのか。▼お世話するというより、人生のひとときを一緒に過ご
すというケアのあり方 ▼だれに看取られつつ死にたいか? これが惚ける前
の自己への最後の問い質しとなるだろう。▼ひとの「ある」は、それぞれに特
異な「受け止め手」との 小さな関係のなかにしか生まれてこない。▼生産性
とか効率性、有用性とか合理性を軸として構成されてきた社会をいわば別の
軸をとって書き換えるという課題が、ここに突きつけられている (第7章より)

★「Zoom」で参加することができます。 パソコンやスマホで。
⇒ <https://us04web.zoom.us/meeting/322686133>
⇒ 林までご一報を



(2) 懇親会 18:00～ 食べながら飲みながら語り合います。

懇親会だけの参加もありです。
食べ物・飲み物、持ち込み歓迎します。
もちろん、「手ぶら」で気軽にご参加を。



■会費：無料 (懇親会で持ち寄りできない方は 1000 円程度のカンパをお願いします)

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。本を読んでいなくても(お持ちでなくても)参加可能。

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで: michi-care@outlook.jp 090-5366-1497



(「夜廻り猫」)

「〈ケア〉を考える会-岡山」ホームページ
<http://okayama-care.jimdo.com/>

